

第5回 尼崎西宮芦屋港 港湾計画検討会 議事要旨

- 1 開催日時 令和6年6月21日(金) 13:30~14:30
- 2 開催場所 ラッセホール 地下1階リリー
- 3 出席者

区分	所属・役職	委員名	備考
学識経験者 (6名)	神戸大学大学院准教授	石黒 一彦	
	流通科学大学教授	今西 珠美	欠席
	神戸大学教授	鋤田 泰子	欠席
	神戸大学大学院教授	竹林 幹雄	
	大阪産業大学教授	田中 みさ子	
	(一財)港湾空港総合技術センター理事長	山縣 宣彦	欠席
港湾・海事 関係者 (5名)	尼崎西宮港運協会会長	松本 泰則	
	ひょうご埠頭(株)代表取締役専務	井上 雅文	
	尼崎商工会議所会頭	大久保 和正	代理：芝 俊一
	西宮商工会議所会頭	森本 直樹	代理：田村 比佐雄
	芦屋市商工会会長	永瀬 隆一	
市 (3名)	尼崎市 副市長	森山 敏夫	
	西宮市 副市長	北田 正広	代理：坂上 英龍
	芦屋市 副市長	御手洗 裕己	
行政 (5名)	近畿地方整備局港湾空港部長	古土井 健	
	西宮海上保安署長	小川 珠樹	WEB出席
	神戸運輸監理部海事振興部長	岡村 知則	
	兵庫県土木部長	上田 浩嗣	
	阪神南県民センター長	小林 拓哉	
オブザーバー	国土交通省港湾局計画課 港湾計画審査官	加賀谷 俊和	WEB出席

4 議事

- 1) 尼崎西宮芦屋港港湾計画(素案)について
- 2) その他

## 5 質疑応答

### ○東西連絡道路の整備による今後の展望・期待について

質問内容【質問者】	回答
<p>長期構想でも課題であった東西連絡道路の必要性について関係部局と調整され、港湾計画素案に反映されたことについて、感謝申し上げます。事業化に向けて、尼崎市としても兵庫県と協力していきたい。</p> <p>新規 RORO ターミナル計画は、貨物の陸上輸送から海上輸送へのモーダルシフトが進み、2024 年問題であるトラックドライバーの労働環境にも配慮した計画であり、大変意義があると感じている。</p> <p style="text-align: right;">【森山委員】</p>	<p>港湾計画（素案）は、県の港湾審議会や国の港湾分科会に諮った後に新たな港湾計画となるので、越えるべきハードルがまだあります。</p> <p>RORO ターミナル計画について、2024 年問題にかかるモーダルシフトということで、RORO 船の需要があります。今後整備していくにあたり、新たにヒアリングやポートセールスを行う必要があります。尼崎市や港運協会等にご協力をお願いしたい。</p> <p>また、東西連絡道路についても、市道と合流する交差点付近の検討が今後必要になると考えられるため、尼崎市等の関係者にご助力をお願いしたい。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p> <p>想像以上に深刻化している 2024 年問題に対し、尼崎西宮芦屋港は大きく貢献できるだろう。同時にラストワンマイル※は必ず陸上交通になるため、臨港道路の位置づけが必要であった。尼崎市における長年の交通課題の解決にもつながるため、2重、3重にも効果がある。RORO ターミナルと東西連絡道路の整備による物流の改善は、皆さんが想像される以上に期待できる。</p> <p>※エンドユーザーへ商品を届ける最後の区間</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p>

### ○東海岸町沖フェニックス用地のサウンディング調査の結果について

質問内容【質問者】	回答
<p>調査結果としては肯定的なもの、産業に関するものが多いという理解でよいか。近くに集積するワールドチェーンに対する期待を持ってよいのか。</p> <p>フェニックス事業用地の広さがそこまで大きいわけではないため、公募による企業選定が課題になると思われる。いずれにせよ、地元の期待が大きいことは良いことである。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p>	<p>ご指摘のとおりであるが、特に電池などの先端企業や鋼材、木材チップ加工、チタン、原塩等を取り扱う企業、物流関連企業の声大きい。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p>

### ○大阪万博における他港との連携について

質問内容【質問者】	回答
<p>大阪万博において、他港と連携・機能分担して何かイベントを実施する予定はないのか。</p>	<p>大阪万博開催時に、Park &amp; Ride 用の場外駐車場としてフェニックス事業用地を活用することが決定</p>

<p>大阪港や神戸港との連携を前面に出すことができれば、大阪湾沿岸部を回遊する人たちを尼崎に呼び込むことができると思う。</p> <p style="text-align: right;">【田中委員】</p>	<p>しており、その整備が始まっている。</p> <p>一方、港湾利用に関しては、大阪港と淡路交流の翼港を結ぶ仕掛けを考えており、現在、淡路交流の翼港では栈橋の改良や高潮対策を進めている。</p> <p>2025年には瀬戸内国際芸術祭の開催も予定しており、姫路港で何等かの仕掛けを検討している。</p> <p>また、港・漁港・内陸部にかけて、フィールドパビリオンとしての兵庫県独自の取組を実施している。</p> <p style="text-align: right;">【事務局】</p> <p>万博事業が計画通りであれば、会場地である大阪にも大きな負担がかかるため、催し物等の負担の分散が必要になる。</p> <p>フィールドパビリオンなど万博会場から距離がある地域での催しは、万博本体をPRする1つの機会になると感じる。</p> <p style="text-align: right;">【竹林会長】</p>
---	--

## 6 竹林会長のまとめ

- ・今回、事務局から提示された港湾計画改訂（素案）は了承。
- ・今後、港湾審議会や港湾分科会に向けて、改訂手続を進めてもらいたい。

以 上